

加古川市危機管理情報システム構築及び運用業務評価基準

1 基本的な考え方

契約候補者等の選定にあたっては、本市にとって最適な事業者を選定するため、提案内容によって評価を行う。

(1) 評価点

「評価基準表」に基づき企画提案書及びプレゼンテーション動画、希望機能回答書、業務工程表、見積書の内容を評価し、「評価点」を与える。

(2) 評価の方法及び契約候補者等の選定方法

(1)での評価の結果、得点が上位1位となった者を「契約候補者」、上位2位となった者を「次点者」として選定する。

2 評価方法

(1) 評価基準の目安

5段階で評価する。なお、記載がない場合は0点とする。

ただし、価格点については、「3 価格に対する評価」に記載している計算式により配点する。

評価	配点 80点	配点 55点	配点 40点	配点 35点	配点 25点	配点 20点	配点 15点	配点 10点
優れている	80	55	40	35	25	20	15	10
やや優れている	64	44	32	28	20	16	12	8
普通	48	33	24	21	15	12	9	6
やや劣っている	32	22	16	14	10	8	6	4
劣っている	16	11	8	7	5	4	3	2

(2) 評価基準及び配点

- ・440点×委員5名の2,200点を満点とし評価する。
- ・合計点のうち、価格に対する評価点を除いた1,750点満点中1,050点に満たない者は、契約候補者等に選定しない。

評価項目	配点
システム全般に対する評価	60点
機能詳細に対する評価	290点
価格に対する評価	90点

- ・詳細は、別紙「評価基準表」のとおりとする。

評価基準表

1 システム全般に対する評価（60点）

項目	評価の視点	配点
趣旨・背景 (全体評価)	・本市の災害・危機管理対応の現状（背景）と、導入の趣旨及び目的を理解して提案しているか。	10点
システム要件（全般）	・災害対応に関するシステムとしての堅牢度及び通信速度、処理速度は十分か。 ・法改正等をはじめとした、災害対応に関する社会の動向に合わせたバージョンアップが可能か。	10点
システム要件 (バックアップ・セキュリティ体制)	・システムや通信の様々な障害に対する想定とその対応体制は十分か。 ・不正アクセスやコンピュータウイルスに対するセキュリティ体制は十分か。	10点
開発工程	・工期内で完了するための工程や進捗管理、課題が生じた場合の解決体制は十分か。	10点
研修・マニュアル	・市職員に対する研修の実施計画は充実したものか。	15点
運用保守	・災害時に使用することを念頭に、システムの安定稼働のための十分な運用保守体制が構築されているか。	15点

2 機能詳細に対する評価（290点）

項目	評価の視点	配点
共通機能	直観的に操作でき、事務負担の軽減に資する内容か。	55点
災害対応	地図などを用いて、災害情報が一元的に管理することができるか。	80点
避難所	円滑な避難所運営に資する内容か。	25点
備蓄	平時の備蓄管理はもとより、災害時の支援要請にも対応した内容か。	15点
外部連携	複数の媒体と連携し、市民に対して迅速な情報提供ができる内容か。	35点
防災ポータル	誰でも見易い構成か。	40点
希望機能対応数	本市の求める希望機能をより多く満たすことができるか。 57～51項目・・・20点 50～45項目・・・16点 44～34項目・・・12点 33～23項目・・・8点 22～1項目・・・4点	20点
追加提案	業務の効率化に有効となる、独自の追加提案ができるか。	20点

3 価格に対する評価 (90 点)

項目	評価方法	配点
見積額	以下の計算式により配点する。 (最低見積金額÷見積金額) × 90 点 ※小数点以下は切り捨てる。	90 点

以上